

### 3. まちづくりのキャッチフレーズと目標

4つの切り口（「緑・自然」「みち」「コミュニティ」「参加」）で整理したまちづくりの課題から、それぞれ共通するキーワードを抽出し、4つの目標を設定しました。また、これらの目標に向け、地域が一丸となってまちづくりに取り組んでいくためのキャッチフレーズを定めました。

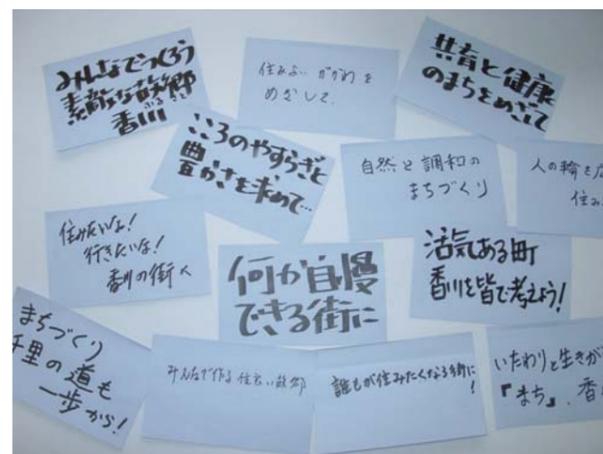
#### キャッチフレーズ

香川のまちづくりのキーワードとして、「住みよい」「自慢できる」「自然と一体となった」「活気ある」「共鳴しあえる」「故郷（ふるさと）」「魅力ある」などがあげられました。

これらを総合すると、「ハード」と「ソフト」の両面から「住む」ことを主眼に置いたまちづくりの目標を掲げ、地域住民が「強い意志」をもって自らのまちづくりに取り組んで行きたいという気持ちを込めたキャッチフレーズとして、

『こんなまちに住みたい！』

としました。



#### 目標 1

緑豊かな自然あふれる生活環境の整備をめざします。

- ◆地域の自然資源を保全・活用しよう。
- ◆富士・丹沢の良好な眺望を守ろう。
- ◆小出川の自然を残そう。



#### 目標 2

安全で快適な人と車のための道路環境の整備をめざします。

- ◆安全で快適な歩行環境をつくろう。
- ◆幹線道路の交通渋滞を解消するための工夫をしよう。
- ◆香川らしい魅力ある散歩道をつくろう。



#### 目標 3

人がふれあいコミュニティを育む都市環境の整備をめざします。

- ◆将来を見込んだ地域にふさわしい駅前づくりを考えよう。
- ◆人にやさしく、人を育てる環境を整えよう。
- ◆子どもやお年寄りが安心して使える公園を守ろう。



#### 目標 4

住民と行政が知恵を集結し行動する、参加のまちづくりの実践をめざします。

- ◆みんなで参加し、できることから確実にまちづくりをすすめていこう。